

【熊本 S.J.C.D.例会 抄録】

演題 「歯周治療の一症例」

演者名 松下哲也

日付 平成 19 年 6 月 26 日

Key Word

- 1) 炎症のコントロール
- 2) 動機付け
- 3) 咬合調整

抄録

45 歳女性で、主訴は左上 7 番の継続治療を希望して来院されました。診断は、中程度以上の慢性歯周炎で、それに対して、プラークコントロール・除石・咬合調整・SRP、再評価、歯周外科、再評価、補綴治療を行ない 2 年間のメンテナンス期間を経た症例です。途中、症状が改善して中止になりかけましたが、再度の動機づけでメンテナンスまで、辿り着きました。

炎症のコントロールだけでなく、咬合調整の重要性を認識させられた症例です。

諸先生方のご意見、ご指導を宜しく申し上げます。